2025.6.25

MGGC 2025 NO.1

Miyagi Goodwill Guide Club（宮城善意通訳者の会）会報

---------- 目次 ----------

巻頭言

2025 年度を迎えて

ガイド報告

雨の下、ジョジョ聖地巡礼の旅
クルーズ船の対応、通訳サポート
中国から来訪の 30 代の 3 名を案内
6 世代目の日系アメリカ人の青年を案内して
英国人ご夫妻を案内
オクラホマからの留学生を案内

懇親会行事

MGGC スキーツアー
2025 年の桜見物

事務局からのお知らせ

2025 年度宮城善意通訳者の会総会報告

巻頭言

2025 年度を迎えて

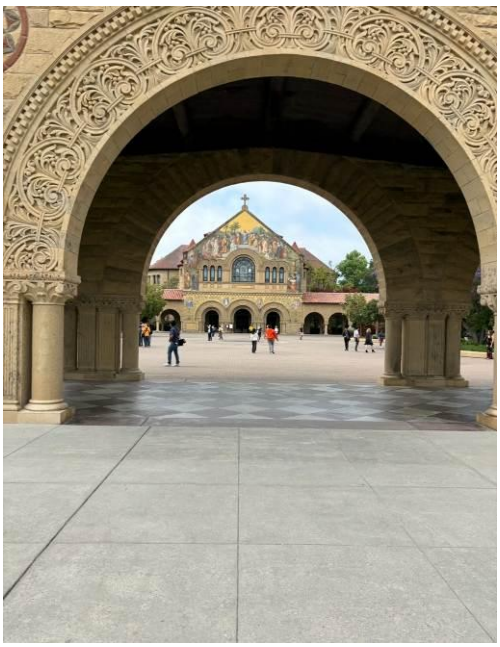
伊東　仁

20 年ぶりに会長を一期務めさせていただきました。4 月の総会でご承認いただいたので、引き続きもう一期、会長として 40 周年の事業も含めて活動させていただきます。現在 40 名の会員です。おかげさまで、若い会員の入会もあり、会の活動も順調に進んでいると思います。日本はインバウンドの需要が増え日本全体としては外国人観光客の数がうなぎ上りに増えています。宮城県ではまだ実感できるほどではありませんが、外国人の数は増えています。

訪問団の一行と

もともと仙台は留学生の数が多く当会の会員の中には留学生の方たちと交流を持っている方も多いと思います。また、技能実習生や今年大崎市に開校した日本語学校の生徒などもあり、多文化共生を目指す取り組みやイベントも多く持たれています。言葉の問題も英語だけではなく多言語での対応が求められるようになりました。日本語を学ぶ外国人や技能実習生、また、外国籍の児童の学校でのサポートの需要も増えています。

そのような外国人のための「やさしいにほんご」の活用も進められています。多文化共生を目指し外国人にも寛容な社会を作ることは少子高齢化の日本社会には不可欠なことだと思います。幸い技術が進みスマートフォンで多言語の翻訳が可能です。


スタンフォード大のキャンパス

6 月 3 日に羽田からアメリカに行ってきましたサンフランシスコを観光し、シリコンバレーのクパチーノ市のご家庭にホームステイしてきました。スタンフォード大学の広大なキャンパスやインテル博物館、ｈｐガレージ（シリコンバレー発祥の地）テスラのショールームなども見てきました。LA では暴動もありましたが、カリフォルニアは景気が良く、お会いした私と同年代の皆さんはみな元気がよく人生を楽しんでいました。日本との交流も盛んなようでそれぞれの都市間交流の話を伺い今後に生かせるお話をたくさん聞くことができてとてもいい経験になりました。短い滞在で 6 月 10 日に帰国しました。往復のフライトでは日本で見逃した映画「a complete unknown」を観ました、サブタイトルがハングルだったので英語を理解するために往復で 7 回半同じ映画を寝ないで観てきました。

ガイド報告

雨の下、ジョジョ聖地巡礼の旅

千葉由紀

4 月 13 日、広州外語大学の大学院生、兪羿均さんの案内をした。依頼人、兪羿均さんの希望は東北大学史料館の魯迅関係とジョジョの聖地巡礼である。東北大学史料館が、片平キャンパスにあることは知っていた。というか私自身が 30 年くらい前に魯迅が学んだ階段教室に入ったことがある。が、今はそう簡単には見学できない、という話を 10 年くらい前に聞いた覚えもあった。しかも兪さんの依頼日は日曜日。大学の史料館だけに、土日は休館日。全く案内できる気がしない。平日でも参観のためには事前予約がいるという。仕方がないので、その旨を兪さんにメールで伝えた。

「ジョジョ」というのは、少年漫画『ジョジョの奇妙な冒険』のことで、「聖地巡礼」というのは、漫画やアニメの舞台になっている場所を、本編を偲びながら廻ることをいう。因みに私は『ジョジョ』の存在や、仙台が舞台になっている話があるということ、聖地巡礼と称してジョジョ由来の場所を参観する人が、海外からもよく来ている、という程度の知識しかなかった。

中国語と日本語の案内で良ければ、という条件で、当日のコースを 2 つ提案した。採用になったのは次のコースである。

B 案　10 時仙台駅→仙台緑彩館→仙台城址(徒歩で登る)、11 時半伊達武将隊の演舞鑑賞→仙台市博物館→昼食(牛タン屋)→ジョジョ関係

午前にいろいろ盛り込みすぎた感があるので、昼食は少し遅めになることをお断りした。

当日、時間通りに合流でき、安心したのも束の間、兪さんの友人張さんから「まずユニクロに行きたい」との要望が出て、焦った。なんでも思った以上に仙台が寒く、上着を買いたいとのこと。確かに 4 月にしては寒目であったので、アエルのユニクロへ向かった。そこでパーカーを購入し、地下鉄で国際センターに向かおうと外に出たところでポツリポツリと雨が降り出した。仙台城址へ徒歩で登る計画を中止し、急遽るーぷる仙台で仙台城址に向かうことに。目標は 11 時半からの伊達武将隊の演舞であったが、るーぷる仙台の混むこと混むこと。乗車するだけで 30 分程度は待ち、それでもなんとか 11 時過ぎには仙台城址へ。「懸け造り」の説明をし、接客中の伊達政宗氏と一緒に写真撮影。兪さんの「カッコいい」という日本語の感想をもらい、大広間跡、登城口まで行き石垣を見、修復時に中国の石を使用したことを伝えた。11 時半近くになっても演舞の始まる気配がなかったため、支倉常長さんに確認すると、雨予報が出たので中止になったとのこと。がっかりし、再びるーぷる仙台で山を降り、仙台市博物館へ。4 月だというのに、吐いた息が白くなるほど気温は下がっていた。

伊達政宗氏と記念撮影

仙台市博物館では、まず裏にまわって魯迅の記念碑を見、それから中の展示物を参観。博物館を出た頃には既に 14 時をまわっており、地下鉄で仙台駅まで出て、南町通の「喜助」へ行った。「味噌味

が食べたい」という兪さんの希望に応える為である。「味噌味の牛タン」はジョジョファンにとっては特別な意味を持つ。喜助では塩味・味噌味・タレ味とあるので、せっかくだからと兪さんが味噌味、張さん塩味、私タレ味と別味を頼んでシェアして 3 種全部を味わった。「やっぱり味噌味が一番気に入った」と兪さん。

その後は、歩いて江陽グランドホテルへ。ジョジョの聖地である。外見を見て「満足しました」という兪さんを「せっかくだから」と引っ張って中まで連れて行き鑑賞。兪さんも張さんも唖然、という感じで、私は中まで連れて行ってよかったとしみじみ思った。そして兪さんがその日の宿にチェックインした後、ジョジョ聖地の「百足屋」さんへ。百足屋さんでは 2000 円以上の領収書に「ジョジョでお願いします」というと特別な領収書を切ってくれる。その特別な領収書を持って、にっこり記念写真。定禅寺通の立像とも記念写真を撮りたいというので、そのまま定禅寺通へ。ところが中の島は工事中で、立像周辺は立入禁止。またもやがっかり。このまるでジョジョ立ちしているような立像の前で記念写真を撮るのも、ジョジョファンあるあるである。がっかりして勾当台公園へ向かうと、こちらも工事中。雨も強くなってきて、時間も 16 時をまわったので、もう一つのジョジョ聖地、柳町のローソンへは兪さんが明日自分で行くということで、解散した。兪さんは「また来ます」とのことでした。

牛タンを楽しむお二人

クルーズ船の対応、通訳サポート報告

伊東　仁

ゴールデンウィークが始まる 4 月 28 日、仙台港高松第 2 ふ頭に到着したクルーズ船 Oceania Riviera の乗客に対する通訳ボランティアの仕事を佐藤正寿さん安孫子修さん、それから古川善意通訳者の会の宍戸代表と 4 人で対応する仕事をしました。

仕事の内容はオプショナルツアーに参加する乗客に対しては、目的のバスに誘導する仕事。22 台のコース別のバスに参加者を間違いなく誘導して乗せるという仕事をこなします。仙台市内や松島、遠くは大崎市の酒蔵に向かうバスに参加者をバスに案内するという仕事をしました。それと並行して、本塩釜駅まで往復するシャトルバスへの誘導をしました。30 分ごとに出発するシャトルバスに定員どおり乗車させ、スムーズな運行をサポートする仕事をふ頭と、本塩釜駅とに手分けして行いました。オプショナルツアーに申し込まない乗客やクルー

参加された皆さん

ズ船のクルーはシャトルバスで本塩釜駅に行き、駅前のショッピングモールや駅から電車で仙台へ行き、またシャトルバスで戻ってきます。本塩釜駅では佐藤正寿さんと宍戸代表が下りた乗客にアドバイスをするということでさまざまな質問で忙しかったようです。

私はふ頭を出発するシャトルバスの利用者の乗車のサポートをしました。並んでいる乗客が定員通り乗れるように人数を確認しきれなかった乗客の数をチェックします。クルーズ船の乗客は年配のご夫婦が多かったようです。話をした限りでも様々な国から来ていました。カナダ、アメリカ、南米やヨーロッパの国、ロシアからも何人か来ていたようです。クルーのメンバーは東南アジア系の方たちが多かった印象です。

受け入れるスタッフや役所の関係者としては県の港湾課の職員の方たち、センティアのメンバー、仙台市の観光担当の部署の方、伊達武将隊からも伊達政宗さまともう一方が参加されて乗客を歓待されていました。私たちに指示をする立場の方は今回の仕事の依頼先のディスティネーションアジアから依頼されてオプショナルツアーに着きツアーガイドの皆さんを監督する方でした。私たちにも的確に指示を出してくれて頼りになる存在でした。プロの通訳ガイドの人たちと話をする機会があり、楽しかったです。10 月にまた依頼があるのでそれもまた楽しみです。

中国から来訪の 30 代の 3 名を案内

髙　娜

4 月 29 日、中国深圳から 30 代の観光客 3 名（男性 2 名・女性 1 名）に仙台市内観光案内（下記のコース）をしました。

ウェスティンホテル仙台 ➡ 仙台駅（るーぷる 1 日券購入）➡ 瑞鳳殿 ➡ 博物館近辺スポット ➡ 青葉城 ➡ 大崎八幡宮 ➡ 定禅寺通り・一番町

政宗像の前で

予定では 4 名でしたが、仕事の都合で 1 人はキャンセルでした。仙台の文化や習慣に興味があり、具体的な旅行プランはありませんが、一緒に学べることを楽しみにしていますとのことです。

当日 10 時に宿泊のホテルで待ち合わせして、こちらから仙台市内観光と松島観光 2 つプランを提案しました。沿岸部出身の皆さんは仙台市内を選び、観光をスタートしました。前日まで、天気予報では降雨確率 80%で、心配しましたが、瑞鳳殿に到着したら、見る見る青空が広がって、写真撮影に最適でした。仙台の基礎を築いた藩主伊達政宗の話をしながら、思う存分写真を撮って楽しんでいました。

つぎに、博物館に行こうとした時、「青葉山公園 仙台緑彩館」が目に入って、いつ出来たんだろうと口に出した時、「さすが地元の人もわからないほど、街の変化は大きいのですね」と皆さんは一気にテンションが上がって、寄ってみることにしました。ここでは歴史や文化など様々な情報が発信され、

常設では山鉾や七夕飾り吹き流しが展示されています。時期外れでも見学でき、仙台の祭り事情も紹介させていただきました。最後にギフトショップで仙台がモチーフとなっているお土産を購入しました。ここでもコツがあり、「made in China」を買わないことです（笑）。

博物館に入るかどうか悩んでいるうちに、まず中国の文豪「魯迅胸像」や江沢民・元国家主席が植樹したところを訪れることにしました。ここも撮影スポットであらゆる角度で写真を撮って楽しんでいました。ところで、一番時間をかけたのは思いもよらない所でした。それは水飲み場です。飲めますよと軽く声掛けしてみたら、3 人とも、蛇口をひねりながら何回も何回もチャレンジしました。風のいたずらもあり、水が強く出過ぎたりして、顔にかかってびしょびしょになっても、物ともせずに、はしゃいでいて、水を飲む様子を写真や動画で撮っていました。何気なく「深圳に水飲み場はありませんか」 と聞いてみたら、「水道水が直接飲めないから、ありません」との答えを聞いた瞬間、「あ～、やっちゃった！」愚問でした。日本での生活であまりにも当たり前過ぎて、何の疑問もありませんでした。改めて自分の持っている「当たり前」に気づいた瞬間でした。今回の出来事で、相手の立場に立って、世界を見ることを学びました。 結局、博物館に入らずそのまま徒歩で青葉城に行くことにしました。ここでもラッキーな出来事がありました。一休みでイカ串焼きとトルネードポテトを買ったところ、店主さんが最後なのでと、トルネードポテトを１パックサービスしてくれました。天候にも恵まれ、何とラッキーな１日と皆さんは喜びました。

その後、大崎八幡宮に立ち寄って、甘酒を体験しました。最後に定禅寺通りでブラブラして、16 時頃、遅めの昼食を取ろうと「牛タンの店」に行ったら、夕食は１７時からのため、近くの書店で日本語教材を探すことにしました。3 人とも日本が大好きで、特に女性の方はアニメファンであり、日本語検定 N1 を取得しています。聞き取れますが、喋るのはちょっと苦手とのことです。他の 2 人は現在日本語を勉強中です。話によれば 3 人は日本のいろんな所を回っていて、前回は 12 月に来日したばかりでした。小紅書（中国版 Instagram）で、蔵王のキツネ村に関する投稿が多く見られ、その話もはずんでいました。次は青森観光の予定だそうです。17 時頃、牛タン料理の前で皆さんと別れて、1 日のガイドを終えることにしました。久々にガイド活動をして、あらためて色々な発見がありました。インバウンドが急速に加速している中で、ガイド需要が高まっていることを実感しました。今後も可能な限り、活動して行きたいと考えています。

6 世代目の日系アメリカ人の青年を案内して

松田昭二

5 月 22 日、テキサス州ダラスからやって来た２４歳の青年（Trace Hamada）をループルバスを使って案内した。来日は２度目、初代の浜田さんは、山口県岩国市出身ということで、初めての来日の時は、山口県や九州を回ったそうです。2 度目の今回は、北海道、盛岡、仙台、会津若松、新潟、佐渡、伊豆を訪れるとか。

最初は、伊達政宗の霊廟：瑞鳳殿を案内。雨の中ではあったが、観光客も少なく、ゆっくりと見ることができた。次は仙台市の博物館を案内。縄文土器や、古墳にも興味を示し、又、歴史にも興味を示した。伊達政宗の兜と甲冑は、本物で、2・3 日前までは、レプリカのイミテーションだったそう

です。そういう意味では、ラッキーだった。彼は、支倉常長の慶長遣欧使節のことも知っていたが、昨年、イタリアを旅し、ローマ・チベタベッキアで見た銅像を伊達政宗と思っていたようだ。日本を旅行することを考えてか大学では、日本語のクラスも受講しており、ひらがなはもちろん、ちょっとした漢字もわかっていた。ガイドの時間が経過するにつれて、会話の中に日本語が増えていった気がする。

瑞鳳殿にて Trace さんと

仙台城址では、先ず、お昼にした。彼は、箸を上手に使い、牛タン丼を食べた。日本食の時は、必ず箸を使うそうだ。馬上の伊達政宗の銅像を写真に納め、青葉城資料展示館で、ハイビジョン CG 映像『仙台城』を見た。市の博物館で得た知識がさらに確実になった。

大崎八幡神社では、参拝の仕方が表示されていて、いっしょにその通りやって見た。帰り道、メディアテークに寄ったが、ちょうどその日は、休館日だった。でもガラス張りの建物なので、柱ではなく、パイプを組み合わせたような斬新な構造にびっくりしていた。いずれにしろ、私が仙台や日本のことを伝えるよりも多くのことを学んだ気がする。

最後に、彼からのお礼のメールを紹介する。

Thank you for the tour last Thursday.
I really enjoyed learning about Sendai's history, seeing some of its famous sites, and trying its specialty food Gyutan. From the history museum it was interesting to read about the connection between Japanese and European history with Hasekura Tsunenaga. Also seeing the mausoleum of the Edo period's Date Masamune was a site to behold. Though it wasn't open it was also fascinating to see the way Sendai's glass building didn't use pillars.
Thank you again and I hope to visit Sendai again in the future.
Sincerely,
Trace

英国人ご夫妻を案内

伊藤卓雄

5 月 23 日（金）、英国から来訪の 60 代の Smith 夫妻のガイドを担当し、仙台市内を案内しました。お二人はすでに複数回日本に来ており、京都、奈良、広島等を訪ねたことがあるとのこと。仙台は初めてで、今回は函館で 1 泊後、前の晩に列車で仙台に到着していました。

事前にるーぷるバスのコースを紹介し、こちらが提案する箇所を訪ねることで OK との了解をもらっていたので、瑞鳳殿、仙台城址、大崎八幡、メディアテークを回るという、いわば定番コースを採用し、メディアテークからの帰りは東一番町、クリスロードをゆっくり歩きました。

瑞鳳殿にて Smith 夫妻と

当日、9：20 にホテルで待ち合わせて 1 日のツアーが始まりました。その日は福島県のいくつかの中学校の「見学旅行」の日に当たっていたということで、通常の観光客に中学生が加わり、乗ったバスほぼ満員でした。さらに国際センターで大きなイベントがあったとのことで周囲は大渋滞となり、るーぷるバスのダイヤがかなり乱れました。仙台城址から大崎八幡に向かうときには、バスが大幅に遅れ、約 30 分以上バス停で待たなければなりませんでした。待ち時間の長さに正直少々疲れてしまいましたが、まあ何とか予定のコースは回れたので、それでよしとすべきでしょう。

いかにも英国人という（ステレオタイプか？）落ち着いた印象のご夫妻だったので、その場での印象を身振り手振りで表現することはありませんでしたが、瑞鳳殿、大崎八幡の装飾の豪華さは印象に残ったようです。伊達男という今でも使われている言葉が表すように、伊達政宗は派手好きだったということは覚えてもらったと思います。

ご夫妻は私より一回り若い世代なので、特に疲れた様子もなく、メディアテークから仙台駅までの 20 分ほども元気に歩いていました。平日ながら人出が多いこと、通り両側の店舗の数の多さに驚いたようでした。

ご夫妻は海外旅行の経験も豊富で、特にアフリカが気に入っているとのこと。動物の近くで撮った、象、キリン、カバ等の動画を見せてくれました。お互いの家族構成、日々の暮らし等、いろいろな話題がでましたが、英国発音になれていない私にとっては聞き取れないことが多く、何度も聞き返さなければならないときがありました。日本の他の街でボランティアガイドに案内してもらった経験があり、いい印象を持っていたので今回 MGGC へ問い合わせたとのことですが、私のつたないガイドがボランティアガイドに対する評価を下げなかったことを祈りたいです。

オクラホマからの留学生を案内

遠藤みるか

荒浜小学校にて

6 月 7 日、アメリカのオクラホマからの留学生に対して、旧荒浜小学校と震災についての説明を行いました。津波や震災とは縁のない地域に住んでいる彼らに、当時の状況や津波の脅威が伝わっていれば幸いです。私は震災当時、幼かったこともあり当時の様子をインターネットで詳しく知りました。自分の想像よりも津波は一瞬で上陸し、あっという間に車や家屋を飲み込んでいく様子が忘れられません。

国籍は違えど、震災の犠牲者を慈しむ気持ちを持ってくれた彼らに感謝したいです。震災を経験しなかった世代が増えていくので、津波の悲惨さとそこから立ち直った人々の力強さをみんなに発信していけたらいいなと思います。

懇親会行事

MGGC スキーツアー（2025 年 3 月 1～2 日）

佐々裕子

山形蔵王のスキー教室、初参加です。暖冬で雪質が気になりましたが、一部のコースのアイスバーン以外、概ね初心者には十分な雪質だったと思います。十数年ぶりにスキー参加。レンタル手順もすっかり浦島太郎状態の中、参加者の皆様には大変お世話になりました。山形蔵王のロッジもかなりお洒落に変わっており、現在はスノーボードとスキーを滑るコースも分けてありますが、外国人にとっては区別が付きにくい様子。早速、迷子の人達を誘導案内した場面を何度か目にしました。

久々のスキー。やはり脚に雪が馴染むまで時間が掛かり、何度も転び、起き上がるのも一苦労（汗）スキーインストラクターの鈴木さん、千葉さんご夫婦、伊東会長からも滑るコツを教えて頂き、少しずつ出来るようになり多少でも上達気分に（笑）

青空を背景に

快晴の中での蔵王樹氷景色。自然美はやはり素晴らしい。ゴンドラで樹氷を見るインバウンドツアー団体客も続々と山頂に到着し、絶賛の声。「雪景色、最高！！！」とパキスタンから来た旅行客。

脚がガクガクしたところで 1 日目終了。夜の懇親会では鈴木さんの用意したビートルズの Ob-La-Di Ob-La-Da(人生は続く)の歌詞を合唱。この曲を MG のテーマソングにする？との案から伊東会長の書の達人話まで夜も盛り上がりました。宿泊先の部屋も綺麗、食事も美味。お風呂もゆったり極楽気分。金額も良心的な値段。企画から宿泊手配された千葉さんご夫婦に改めて感謝申し上げます。

2025 年の桜見物

佐藤正壽

4 月 5 日（土）、今年の桜見物は、英語勉強会の方々と一緒に榴ヶ岡公園で行いました。関さんが榴ヶ岡天満宮の歴史を、その英訳文は千葉さんが作成して下さり、大変有意義な勉強会になりました。

また、関さんが福岡の太宰府天満宮に行かれたお話をして下さいました。三つの太鼓橋のお話をして下さり、

「過去」の橋を渡る際は後ろを振り向かない。

「現在」の橋をわたる時は立ち止まらない。

「未来」の橋を渡る時はつまずかない。

とのことです。大変含蓄のあるお話で、とても勉強になりました。

さて、いよいよ乾杯です。今年は合計 10 人の参加となり、賑やかなお花見となりました。それぞれ持参した、お弁当と飲み物を飲み、歓談が続きました。榴ヶ岡はいろいろな種類の桜があるとのことで、4 月の上旬から 4 月末まで楽しめるとのことでした。仙台でも有数な桜の名所であり、大勢の方と子供達が元気に楽しんでいるのが、非常に印象的で、楽しい桜見物になりました。

4 月 4 日に気象台の標準桜により開花が発表になりましたが、5 日は終日大変天気に恵まれて晴天になり、日焼けが心配になるほどでした。

（さて、最初に桜見物の話は会報で連絡し、その後メールでだけ変更を連絡しましたがメールをみていない会員がいらっしゃり、前日間一髪で白石城からの変更を伝えました。今後気を付ける事例となり、参考にすべきと感じました。）

春らしい日和に恵まれました

先ずは勉強会

事務局からの連絡

2025 年度宮城善意通訳者の会総会報告

尾田俊子

4 月 12 日（土曜日）第 41 回宮城善意通訳者の会の総会が仙台市民活動サポートセンターにおいて開催されました。

先ずは総会の出席者数の報告から始まりました。4 月 1 日現在の会員数は 40 名です。その内の総会出席者数は 12 名、委任状は 8 名、計 20 名での議案審議となりました。来賓として、宮城県国際

化協会（MIA）から総括マネージャーの大泉貴弘様をお迎えして、今後の MGGC の活動に対する期待のお言葉を頂きました。

続く議事において第 1 号議案の事業報告をそれぞれの担当者が行い、第２号議案から４号議案まで会計関係の審議が滞りなく尽くされ賛同を得られました。今年は役員改選の年です。伊東仁さんが会長に再選され副会長には佐藤わか子さんが選出されました。

総会後は恒例の講演会が行われました。講師は東北大学工学部留学生で MIA 外国人支援通訳サポーター、MIA 国際理解教育事業講師のモム　ソペアックポリンさんです。来日して仙台で生活するに至るまでの経験談を紹介して下さいました。

講演会の後は大泉さんとポリンさんを交え懇親会が開かれました。大変賑やかで和やかな楽しい交流会でした。2025 年度の活動に対する期待と思いを新たにして締め括りました。

総会終了後の懇親会の一コマ

編集後記

伊藤卓雄

今年度も引き続き会報を担当することになりました。活動量にもよりますが、3～4 号／年の発行を目指します。MGGC としての活動はすべて記録して行きたいと思います。私が把握している範囲では皆さんに個別にお願いしますが、漏れがあるかもしれません。当方からの依頼以外でも MGGC としての活動であればその記録を積極的に投稿していただきたく、よろしくお願いします。

The
WORLD